

① 「断面 No. (荷重ケース)」を選択する (切り替える) または「断面リスト」の番号を選択する。

SECT-RC RC断面設計 Ver.9 - [C¥Sogo¥RC断面設計Ver9¥SampleData¥許容応力度法¥矩形RC断面.sr9]

774(F) 入力(I) 計算(C) フレーム運動(R) 設定(S) ヘルプ(H)

形状 計算項目 材料 配筋 作用力

許容応力度法

断面 No. 3 名称: CASE3

単位:mm

b: 1450.0

h: 1400.0

As: 引張主鉄筋  
As': 圧縮主鉄筋

断面リスト

断面リスト	名称	b	h
1	CASE1	1450.0	1400.0
2	CASE2	1450.0	1400.0
3	CASE3	1450.0	1400.0
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

コンクリート

コンクリート強度

コンクリートの設計基準強度 24

設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	24.00
ヤング係数 (×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> )	2.50

コンクリートのひずみ

終局ひずみ ε 0.0035

コンクリートの許容応力度

コンクリートの許容曲げ圧縮応力度 σ <sub>ca</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	8.00
コンクリートの許容軸圧縮応力度 σ <sub>ca'</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	6.50
許容せん断応力度	
コンクリートのみで負担する時 τ <sub>a1</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	0.230
斜引鉄筋と共同で負担する時 τ <sub>a2</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	1.700
最大平均せん断応力度 τ <sub>max</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	3.200
コンクリートの許容付着応力度 τ <sub>0a</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	1.600

鉄筋

鉄筋強度

鉄筋規格 SD345

主鉄筋設計引張強度 (N/mm <sup>2</sup> )	490.00
主鉄筋降伏点応力度 (N/mm <sup>2</sup> )	345.00
せん断補強鉄筋引張強度 (N/mm <sup>2</sup> )	490.00
せん断補強鉄筋降伏強度 (N/mm <sup>2</sup> )	345.00
ねじり補強鉄筋引張強度 (N/mm <sup>2</sup> )	490.00
ねじり補強鉄筋降伏強度 (N/mm <sup>2</sup> )	345.00
ヤング係数 (×10 <sup>5</sup> N/mm <sup>2</sup> )	2.00

主鉄筋の許容応力度(基本値)

主鉄筋の許容引張応力度 σ <sub>sa</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	180.00
主鉄筋の許容圧縮応力度 σ <sub>sa'</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	200.00

※σ<sub>sa</sub>は一般部材の値です。必要に応じて変更して下さい。

斜引鉄筋の許容応力度(基本値)

斜引鉄筋の許容引張応力度 σ <sub>sa</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	180.00
---	--------

ヤング係数比 n = 15.00

基準値確認

許容応力度割増し係数

風時 1.25

※σ<sub>ck</sub>=35N/mm<sup>2</sup>以上の場合は規定されていない定数があるので、基準値を確認して下さい。

※材料の許容応力度に割増係数を注意下さい。

※せん断補強鉄筋の降伏強度の上限値を345N/mm<sup>2</sup>としています。

② 「許容応力度割増し係数」を設定してください。